

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立 山代中学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上・・・対話や協働を取り入れた授業実践を行い、生徒の考える力や発言が見られるようになってきた。既習内容の定着、思考力・判断力・表現力（記述する）などにおいて課題が見られる。 ・心の教育・・・交流活動等を行い自己理解・他者理解を促した。コミュニケーション能力や人間関係調整力をさらに高める必要がある。また、教育相談を随時行い、いじめの早期発見・早期対応および生徒理解に努める。 ・健康・体づくり・・・就寝時間、朝食の摂取で生活のリズムをつくり、スマホ・SNSの使用時間や生活習慣を自己管理する力を身につけさせるようにする。
------------------	--

2 学校教育目標	心豊かでたくましく、志をもつ生徒の育成 ～ 自己肯定感・自己有用感の醸成「褒めて・認めて・伸ばす」～
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>「確かな学力の育成」・・・話し合い活動が深まるような授業改善と校内研究の推進。発信力の育成。</p> <p>「豊かな心の育成」・・・道徳教育の充実。コミュニケーション能力と人間関係調整力の育成。教育相談の充実。</p> <p>「健やかな体の育成」・・・食育の推進、病気（感染症）の予防、部活動の充実。</p> <p>「教育相談・生徒指導の充実」・・・開発的生徒指導の推進、いじめの早期発見・早期対応、関係機関との連携。</p>	<p>「地域とともにある学校づくりの推進」・・・学校からの情報発信（お便り、メール、HP）。コミュニティスクールの推進。</p> <p>「家庭と学校との連携」・・・相談体制の確立、「山代っ子の約束」の実践と啓発、PTA活動の促進。</p> <p>「小中連携の推進」・・・教育相談体制の充実、情報共有による生徒理解。相互の授業参観。</p> <p>「働き方改革の推進」・・・組織的な業務遂行の推進、ICTの活用、会議の精選。</p>
------------	--	---

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価	
---------------	--------	--

(1) 共通評価項目				最終評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	最終評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	
●学力の向上	○ものの見方を養い、「考える・判断する・表現する」力をつけるための授業改善	○相乗効果を生む話し合い活動の実践に取り組んだ教師80%以上。 ○自分の考えを十分に相手に伝え、説明できる生徒70%以上。	・焦点を明確にし、分かりやすい授業づくりと全職員が授業研究会、相互参観を行う。 ・対話学習や協働活動による課題解決学習を取り入れた授業づくりを行う。		・	
	○家庭学習の習慣化と内容の充実 ○基礎学力の定着	○1日の家庭学習の時間が、1年70分、2年80分、3年90分以上の生徒の割合が80%以上。	・SAノートの秀作を掲示や紹介を通して内容の深化や方法の改善について指導する。 ・小テストや単元テストによる反復学習を徹底する。		・	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業において「自分のことに置き換えて考えることができた」、「相手の立場を考えてコミュニケーションをとっている」生徒の割合が80%以上。	・多様な意見に気づき、深く考えるために、授業の中に意見交流の場を設定し、感想発表まで行うようにする。 ・ティームティーチングを行い、生徒の見取りを行い、評価を記録していく。		・	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校生活満足度の肯定的回答率が80%以上。 ○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答する教師100%。	・生徒に対する密着指導に努め、毎月のアンケートの活用や教育相談の充実を図る。会議の場のみならず職員間での情報交換と共有を積極的に行う。		・	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」と回答した児童生徒75%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒75%以上	・あらゆる場面で生徒の出番、活躍の場を積極的に作り、その頑張りや善行を積極的に褒め、学級活動や職員間で共有する。 ・未来への希望や期待感を感じさせるような進路学習を充実させる。		・	
	○生徒指導における共通理解と共通実践 ○いのちの教育の推進	○規律・礼儀・言葉遣い・節度・マナー等について、その場で適切に指導している教師100%。 ○「学校で命や生き方について考える機会がある」の肯定的回答が90%以上。	・生徒に求める規律や礼儀等について些細なことでも職員間で話題にし、職員が同じ基準で指導にあたる。 ・キャリア学習や講話を通して、いのちの尊厳や自己実現に向かうための生き方について考えさせる。		・	
●健康・体づくり	○望ましい生活習慣の形成	○山代っ子ウィークにおいて、「山代っ子の約束」のスマホ・SNSの使用が2時間以内または21時までを守れた生徒70%以上。 ○運動習慣がある生徒80%以上。	・スマホ・SNSの長時間使用、深夜までの使用が心身に及ぼす影響について指導する。毎日の生活チェックを活用して、使用状況を集計し、生徒や家庭に結果を伝える。 ・学期末に運動習慣に関するアンケートを実施する。		・	
	○食に関する自己管理能力の育成と食育の推進	○健康と食、体と心の関連について理解し、「健康に食事は大切」と考える生徒85%以上。 ○朝食の喫食率80%以上。	・食育講話を通して食の重要性や特に朝食の必要性を理解させ、実践につなげる。 ・食事のマナーや給食をしっかり食べる習慣を身につけさせる。		・	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・組織的な業務分担による業務量の均衡化及び協働体制の強化、OJTの推進を図る。 ・会議の効率化、情報伝達の工夫を図る。		・	

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---